

令和3年度 講座実施報告書

概要

講座の名称	女性相談担当者事例検討会				
講座の目的	女性相談の実際の対応の仕方や問題への捉え方などについて、他の相談員との意見交換や講師の助言を得る機会としてオンラインによる事例検討会を開催し、女性相談に携わる相談員の相談対応力の向上を図る。				
募集対象	県・市町村で女性相談に携わる者				
定員人数	16名	申込人数	12名	当日参加人数	12名
申込方法	ファックス、電子メール				
託児	(募集なし)				
回数	1回				
開催場所	Zoomによるオンライン研修				
日時	10月8日(金) 13:30~15:30				
講師	安納 吉野 さん (産業カウンセラー 女性問題カウンセラー)				
開催内容	講師から提供された相談事例について、グループに分かれ討議、全体会にて発表。事例への考え方、支援のあり方について講師から助言を受けた。				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談ということでDVにばかり注目してしまい本当の主訴を見失っていたかもしれない。女性相談は、ワンストップではあるが、他部署との連携は大切であること、相談者にとって何が一番必要な支援なのか、相談者の思いに寄り添い一緒に考えていくことが必要だと痛感した。相談員は、危険度を察知し、迅速に対応をしていくスキルが求められることを学んだ。 ・初めて皆さんの顔を見ることが出来て良かったです。Zoomでの今回の様なりモートでの研修で自分の意見も言えるものを沢山お願いしたいです。 ・事例検討会をオンラインで行う場合、今回のように事前に事例を配布し読み込んでおく、ということは必要だと思いました。じっくり時間をかけて事例について考えるよい機会になりました。慣れていけばオンラインでもグループ討議をうまくやれそうです。 ・グループ人数もワーク時間も丁度よく話ことができました。話している時の表情はよく分かりませんが、話し方等からみる伝えたいことは少しわかった感じがします。声に出さずとも、うなずき等が見られ、聞いてくれているという安心感を感じました。 ・対面ではなくとも、オンライン上で顔を見ながらの研修であったので、表情等も見ることができ、安心して研修を受けることができました。虐待であるかどうかを、キャッチできる力がまだまだ足りていないことを実感した研修でした。 ・コロナの影響で多くの研修会がWEB開催となる中、今回の事例検討会はチームごとにじっくり意見交換をする事ができ、とても良い機会となりました。 ・普段の相談業務では、この対応で良いのだろうかかと相談者の自分自身が日々自問自答している為、各市町村の皆様と同じ様な悩みを共有できた事が不安解消に繋がりました。今後役に立てたいと思います。 				